

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

新2001年10月28日

16号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL045-562-3600

FAX045-562-5991

グループホーム

よつばホームが出發！

— 会員一人ひとりの力が集まって...

私たちが「地域で生きる障害者を支える会」の強化と、グループホームの設立趣意書をまとめてから、丁度2年めの秋です。お陰様で皆様のご協力により「よつばホーム」が誕生しました。

会員、賛助会員をとわず、一人一人の支える気持ちの結晶です！



この準備期間を通し、地域の皆様に多大なご支援をいただきましたが、サンヴァリエ日吉の一室をかりて行った、長いレスパイト宿泊体験事業では、サンヴァリエ日吉自治会の皆様による、継続した熱いご支援、ことに給食ボランティアをとぎれることなくコーディネートしてくださった若木信子会長を中心としたボランティアグループの皆様には、心より敬意を表し感謝申し上げます。また、いろいろな方が時々訪れてお声掛けいただくことで、メンバーたちも家庭とは違った場所で泊まることが楽しく、自然にその場所にもなじんで行きました。

この経験が生きて、新しいグループホームでも、楽しい生活が始まっています。

よつばホームでは、医師や訪問看護ステーションとの連携をとり、一人ひとりにあった支援を心掛け、体制を整えていきたいと思ひます。新吉田町の皆様も暖かく迎えてくださり、新吉田連合町内会会長の金子正雄さん、新吉田地区社協会長の石井正雄さん、地元の新吉田西部町会会長の手塚和夫さんも、運営委員として積極的に応援していただいています。心よりお礼申し上げます。

私たちも、会員一人一人が手を携え、これからも支援の輪を広げていきたいと思ひます。

私たちのグループホーム

新吉田地区に私たちのグループホームができました。

でも、開所式の日、雨がふってる中、大勢の方々がお祝いにかけつけて下さって、とてもうれしく思ひました。私はぐうぜん「ふたば作業所」にいた時、お世話になった池内先生に会うことが出来ました。

私はこの新しいグループホームで楽しい生活をつくって、いろんなことをやってみたいと思ひます。がんばって行こうと思ひます。

高畠 勢津子(グループホーム)

(字・カト 高畠勢津子)



浄めの雨で乾杯！



第一館目のグループホーム「よつばホーム」のオープン おめでとうございます。10月10日は朝からドシャブリの雨。“浄め雨で乾杯！”という感じでした。“しもだ”から昼食後、職員さん、所員さんと一緒に雨にぬれながら内覧会に行かせていただきました。

大きな平屋の家が雨の中、ありました。「すご〜い家だ」と、これが第一印象でした。大勢の見学者で玄関は靴であふれていました。

お母様方にお迎えされ、中に入りました。家の中を見学。風呂場、トイレ、台所、各入所者の部屋、職員の部屋と、中心は広い居間でした。

この居間に明るい顔をした4人がいました。

なぜかほっとした気持ちになりましたが、それと同時にここまで成し遂げた親御さんのご努力を思い、頭が下がりました。それと、うれしいような、ほっとしたような、さみしいような、おつかれのよう、複雑なお顔をなさっていたことに気がつきました。第2館目が早く出来ますように祈るばかりです。

職員のお二人さんはこれからが大変でしょうが、地域への心遣い等、どうか良い手本となるように頑張ってください。

黒田 道子(勤続)



嬉しく ありがたく...

10月10日、雨の降る中「よつばホーム」の開所式を迎えました。悪天候の中、多数の方がお祝いに来て下さり、ありがたく思ひます。

大勢の方々のご助力、ご協力により完成した「よつばホーム」です。

2連泊、3連泊、4連泊と重ねて人居準備を進めてきました。

個々の状態に合わせた居室のつくり、トイレ、浴室と案内、説明をしながら本当に誇らしく思った私です。素晴らしいホームが出来上がりました。ありがとうございました。以前から、出来れば身近で見守っていけるという暮らし方はさせられないものかと思ひていましたが、このような、割合近くにグループホームが出来たことは本当に嬉しく、ありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。

地域の皆様方のあたたかさに支えられて、これから4人の暮らしが始まります。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

高畠 慶子(勤続)





この前 日吉駅から 電車に乗るとき 「久しぶりですね」と 駅員さんに 声をかけられました。 いつもは、軽くおじぎをするだけです。うれしかったです。

60  
の  
声

私が車イスに乗りはじめた 13年くらい前は車イスで電車に乗るのは とても不便でした。

私は「白楽駅を利用したいです。」「厚木の愛甲駅を見に行っほしい」と市長に2回手紙を書きました。

お返事が来て 電話をして行けば介助してくれるそうですと電話番号が 書いてありました。私は 何度か利用しましたが やっぱりめんどうなのであまり使いませんでした。

そのうちに白楽駅にも 障害者用の 出入口が 出来ました。私は ボランティアさんと一緒に、一人で電車に乗れるように 練習をしました。私たち車イスの人は 一番後の車両に乗るようにと教えられました。車掌さんに一番近いからです。

白楽のホームと電車の間が広くあいていますので車イスで乗るのは とても危なく大変でした。

私は 大塚さんに 相談してスキ間にかけるアルミの 折りたたみ板を作ってくださいました。

これを車イスの後のカゴに 積んで歩き電車に乗るたびに使いました。ある時駅の人が「ちょっと写真をとらせて下さい」と言いました。

それからしばらくたった時、駅の方は、白い荷物を下げて迎えに来ました。折りたたみの板でした。私のより大きくて安心です。これを電車とホームの間にかけて乗せてくれました。その時から東横線の駅に 板がそなえつけてあるようになりました。やっぱり自分で 頑張っ外に出れば一歩づつでも進んでいくと思います。

大原友子



会員入会状況(平成13年10月25日現在)		新入会者紹介(敬称略・順不同 女性新入会者)	
必 必 必	25名 124名 4団体	〔会員〕	岩永 美智彦 金子 正雄 小林 辰雄 小杉 久仁男



絵：西田友郎

# 今月のよつばホーム

いよいよスタートしました！今月号より毎月『今月のよつばホーム』として、グループホームでの出来事等をお伝えしていきたいと思ひます。

今月は第一回目ということで入居者の様子をお伝えいたします。

◆福田 次郎さん

最新のAV機器を部屋に揃え、ビデオやTVゲーム、音楽を楽しんでいます。まだまだ自分のコレクションを揃えていきたいそうです。いろんな人をグループホームに招待するんだとはりきっています。

◆藤田 博之さん

とってもマイペースな博之さん、実家にいる時と変わらずに過ごさせています。環境が変わり体調の変化があるかと思ひましたが、全然平気なようです。食欲の秋・睡眠の秋を満喫しています。

◆高島 勢津子さん

部屋のテレビや机を置く配置等も決まりつつあり、お花や本棚等も置きたいと夢が広がっています。夜もよく寝られており、早くも『家』としてのイメージがついてきたようです。

◆花岡 佐千江さん

お気に入りの『くまのプーさん』人形、おしゃれな小さいランプで部屋を飾っています。流行りの曲を聴きながらリビングでコーヒーを飲み、皆とおしゃべりするひとときが一番好きな時間です。

グループホーム

よつばホーム平面図

